



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 ソマール株式会社

上場取引所 東

コード番号 8152 URL <http://www.somar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 曾谷 太

問合せ先責任者 (役職名) F&A部長

(氏名) 今井原 俊彦

TEL 03-3542-2152

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,868	△10.6	△59	—	△87	—	△204	—
23年3月期第3四半期	19,983	2.9	178	△17.3	128	△34.5	△12	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △531百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △223百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△10.53	—
23年3月期第3四半期	△0.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,825	13,614	52.7
23年3月期	25,763	14,342	55.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 13,614百万円 23年3月期 14,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△10.2	△190	—	△230	—	△370	—	△19.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	19,587,349 株	23年3月期	19,587,349 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	138,501 株	23年3月期	134,483 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	19,450,674 株	23年3月期3Q	19,457,272 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災とその後の電力供給の制約などによる景気の落込みからは持ち直しの動きがみられるようになりましたが、円高の進行や欧州の財政危機などによる海外経済の減速懸念で、国内経済の先行きは依然として不透明感を強めております。

当社の関係業界におきましては、こうした状況に加えて、10月から発生したタイでの洪水被害により、特に自動車や電子部品の関係工場で生産活動に再び大きな支障が発生し、当社を取巻く事業環境は一段と厳しさを増しております。

こうした状況下、当社グループでは、顧客に密着した情報収集と顧客の要請にスピーディーに応える営業活動に心掛け、適切かつ柔軟な製商品の供給体制やグローバルな視点での開発強化並びにそれらに付随する適切なサービスの提供などにも鋭意努めてまいりました。しかしながら、関係業界での生産活動の停滞が当社グループの経営成績に大きな影響を及ぼし、販売は大きく減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は178億6千8百万円（前年同四半期比10.6%減）、営業損失が5千9百万円（前年同四半期は営業利益1億7千8百万円）、経常損失が8千7百万円（前年同四半期は経常利益1億2千8百万円）、四半期純損失が2億4百万円（前年同四半期は四半期純損失1千2百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[高機能材料事業]

高機能材料事業は、電子部品や自動車部品などの関係業界で震災の影響により大きく落込んでいた製商品販売の状況からは徐々に回復しつつありましたが、10月からは新たにタイでの洪水の影響で当該地域での生産やサプライチェーンに大きな支障が生じたため、これが当社グループの関連製商品の販売にも大きなマイナス要因となりました。その結果、当事業全体の売上高は125億7千2百万円（前年同四半期比12.3%減）、営業利益は5千2百万円（前年同四半期比82.7%減）となりました。

(主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
コーティング製品	携帯電話、パソコン、HDDなどの電子機器業界向けの材料需要が、震災の影響などで大きく落ち込んだため、これまで外部委託していた加工業務の一部内製化などによる増収策を取り入れたものの、4.1%の減収となりました。
高機能樹脂製品	主要な関係業界である自動車部品業界の生産活動は徐々に持ち直してきましたが、震災による大きな需要の落込みからの回復が依然として停滞しているため、6.2%の減収となりました。
電子材料	電子機器業界向けの材料需要が、震災の影響とタイでの洪水の影響で依然として大きく落ち込んでおり、更には、一部販売先での商流変更の影響もあったために、14.2%の減収となりました。
機能的樹脂	震災の影響で落ち込んだ回路基板や家電製品業界向け樹脂需要がまだ回復せず、また、前期まで続いた政府の経済支援対策による需要効果もなくなったことで、20.5%の減収となりました。

[環境材料事業]

環境材料事業は、主要販売先の製紙業界において、震災被害を受けた工場の復旧・復興作業が鋭意進められ、操業が徐々に再開されてきましたが、いまだ完全復旧の状態には至っていないため、当社の営業活動は引続き厳しいものとなりました。

こうした状況下、顧客ニーズへのスピーディーな対応ときめ細かなサービスの提供に引続き注力し、更には当社独自の製品群の拡販にも努めてまいりましたが、震災後の大きな需要減を補うには至りませんでした。その結果、当事業全体の売上高は46億2百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益は2千5百万円（前年同四半期比54.8%減）となりました。

(主な製商品群の概況)

製商品群	概況 (数値は前年同四半期との対比)
ファインケミカルズ	新規顧客の獲得や既存顧客への拡販による増収要因も一部にありましたが、震災による当社製品への需要の落込みが大きかったこと、更には、競合各社との競争激化の影響もあって、9.2%の減収となりました。
製紙用化学品	一部の製紙用化学品では震災特需的な需要増もありましたが、全体的には被災工場における当社商品の需要が大きく落ち込んだため、8.2%の減収となりました。

[その他の事業]

その他の事業では、主体の食品材料が引続く個人消費の低迷や円高の進行で販売価格の値下げ圧力が続く中、顧客ニーズへ適確に応えるサービスの提供と拡販に努めてまいりました。当期間においては震災の影響もあって、長期保存が可能な加工食品向けの乾燥野菜が比較的堅調に推移したこと、また、増粘安定剤は、原料価格が高騰したことで販売価格が高めで推移し、更に拡販の効果も伴ったことで売上は伸長しました。その結果、当事業全体の売上高は6億9千3百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は1億1百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は157億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ15億8千2百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1億9千4百万円、たな卸資産が1億8千万円増加したものの、現金及び預金が18億2千4百万円減少したことによるものであります。固定資産は101億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億4千3百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が13億1千9百万円、建物及び構築物が2億5千1百万円、機械装置及び運搬具が1億5千万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、258億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千1百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は74億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億2千1百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が12億円増加したことによるものであります。固定負債は47億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千2百万円減少いたしました。これは主に長期借入金2億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、122億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ7億8千8百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は136億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億2千7百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が3億9千9百万円（2億4百万円の四半期純損失の計上、1億9千4百万円の剰余金の配当による減少）、為替換算調整勘定が2億2千7百万円、その他有価証券評価差額金が9千7百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.7%（前連結会計年度末は55.7%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月27日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,382,132	5,557,513
受取手形及び売掛金	7,775,594	7,970,233
たな卸資産	1,835,890	2,016,886
その他	328,475	183,760
貸倒引当金	△19,590	△8,030
流動資産合計	17,302,503	15,720,364
固定資産		
有形固定資産	5,293,141	6,941,705
無形固定資産	248,922	263,882
投資その他の資産		
投資有価証券	1,587,173	1,543,187
その他	1,821,109	1,844,368
貸倒引当金	△488,942	△488,442
投資その他の資産合計	2,919,340	2,899,112
固定資産合計	8,461,404	10,104,701
資産合計	25,763,908	25,825,065
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,322,149	4,302,316
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	2,200,000
未払法人税等	58,218	27,371
賞与引当金	139,187	70,557
その他	413,157	453,607
流動負債合計	6,332,712	7,453,853
固定負債		
長期借入金	4,600,000	4,400,000
退職給付引当金	308,756	246,845
役員退職慰労引当金	44,557	40,387
資産除去債務	62,795	63,203
その他	72,956	5,887
固定負債合計	5,089,065	4,756,323
負債合計	11,421,778	12,210,176

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,886,268	4,886,268
利益剰余金	4,557,154	4,157,810
自己株式	△44,753	△45,591
株主資本合計	14,513,893	14,113,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,541	813
繰延ヘッジ損益	603	△1,203
為替換算調整勘定	△270,908	△498,433
その他の包括利益累計額合計	△171,763	△498,822
純資産合計	14,342,129	13,614,889
負債純資産合計	25,763,908	25,825,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	19,983,443	17,868,946
売上原価	17,619,176	15,845,442
売上総利益	2,364,266	2,023,503
販売費及び一般管理費	2,186,234	2,082,624
営業利益又は営業損失(△)	178,031	△59,120
営業外収益		
受取利息	6,613	10,472
受取配当金	27,564	29,474
その他	9,497	21,682
営業外収益合計	43,675	61,629
営業外費用		
支払利息	45,110	50,819
債権売却損	5,136	3,937
為替差損	36,940	32,864
その他	6,020	2,187
営業外費用合計	93,206	89,808
経常利益又は経常損失(△)	128,500	△87,298
特別利益		
固定資産売却益	1,382	—
貸倒引当金戻入額	37,588	—
特別利益合計	38,971	—
特別損失		
固定資産売却損	23,102	701
固定資産除却損	1,505	6,636
投資有価証券評価損	1,108	7,848
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,354	—
その他	78	—
特別損失合計	83,150	15,185
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	84,321	△102,484
法人税、住民税及び事業税	40,165	30,828
法人税等調整額	56,231	71,514
法人税等合計	96,397	102,342
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△12,075	△204,827
四半期純損失(△)	△12,075	△204,827

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△12,075	△204,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81,701	△97,727
繰延ヘッジ損益	△696	△1,807
為替換算調整勘定	△129,448	△227,524
その他の包括利益合計	△211,846	△327,059
四半期包括利益	△223,921	△531,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△223,921	△531,886
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,328,799	5,024,196	19,352,995	630,447	19,983,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,328,799	5,024,196	19,352,995	630,447	19,983,443
セグメント利益又は損失(△)	303,446	56,234	359,681	106,119	465,800

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	359,681
「その他」の区分の利益	106,119
全社費用(注)	△287,768
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	178,031

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,572,663	4,602,521	17,175,185	693,760	17,868,946
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,572,663	4,602,521	17,175,185	693,760	17,868,946
セグメント利益又は損失(△)	52,559	25,419	77,979	101,701	179,680

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	77,979
「その他」の区分の利益	101,701
全社費用（注）	△238,800
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失（△）	△59,120

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（6）重要な後発事象
該当事項はありません。